

**DATA：脳神経外科・脳卒中センター**

- 平均一般外来患者数(日)：30名、救急外来患者数(月)：150～200名 ●平均入院患者数(日)：30名
- 医師数：4名
- 主な対象疾患：脳血管障害：くも膜下出血、脳出血、脳梗塞の外科治療・血管内治療 脳・脊髄腫瘍：神経膠腫、上皮腫、髄膜腫、神経鞘腫、類上皮腫、脳下垂体腫瘍、転移性脳腫瘍など 機能外科：三叉神経痛、顔面痙攣、脊椎ヘルニア、脊柱管狭窄症など その他：頭部外傷、慢性硬膜下血腫、水頭症など

## 院内一の救急患者受け入れ数

当科は脳神経外科領域全般の診療を担っています。2005年4月に東葛南部医療圏最初の脳卒中センターを開設し、神経内科と連携しながらより高度な専門的医療を開始しました。同センターは24時間365日、脳卒中患者様を積極的に受け入れる体制を構築し、年間約2,000名の救急受け入れ数は院内の全診療科で最多を誇ります。内訳は、交通事故や転倒・転落による外傷が半数、残る半数が脳卒中という状況です。

## 早期リハビリを可能にするSCU

2015年12月より、脳卒中センター内に9床のSCU(Stroke Care Unit：脳卒中ケアユニット)が本格稼働し、脳卒中急性期において集中的に治療を行える環境が整いました。脳卒中センターでは院内のリハビリスタッフ(PT2名、OT2名、ST2名)計6名が常駐し、入院翌日には8割以上の患者様がリハビリを開始できるなど、早期リハビリを実践しています。さらに先進的なオーラルケアや嚥下機能診断、嚥下リハビリなども行い誤嚥性肺炎の予防に取り組んでいます。



# SCU本格稼働。包括的な脳卒中治療が可能に

看護師では難しいオーラルケアでは、歯科大学附属病院の特長を活かして歯科医師や歯科衛生士がその役割を担っています。



## 脳梗塞とt-PA治療

脳梗塞の急性期治療には、血栓溶解薬t-PA(tissue-Plasminogen Activator：組織プラスミノーゲン活性化因子)を用いますが、適応は全体の5～10%程度です。これは軽症例や重症例は適応外のため、全国平均と同程度です。以前は発症後3時間以内の症例が適応でしたが、現在は4.5時間以内に延長され、適応症例数が増加しています。

重症の心房細動に起因する心原性脳塞栓症や、t-PA無効例では、血管内治療を行います。カテーテルによる血栓の回収、スネアでの吸引、振動による血栓溶解法など様々なデバイスが進歩しており治療成績も向上、また発症から8時間以内が適応であり時間的余裕もあります。加えて血管内治療はt-PA無効例に対して有効であるというエビデンスも続々と報告されており、脳血管専門医がいる当科では積極的に選択しています。動脈瘤では、未破裂の場合はクリッピング術またはコイル塞栓術を選択しています。最近では低侵襲のコイル塞栓術を

# 地域連携を活かして継ぎ目の無い医療を提供

脳神経外科・  
脳卒中センター

選択することが多く、こちらも予後を含め良好な成績を収めています。

## 先進的高度医療を

当院は慶應義塾大学脳神経外科と連携し、悪性脳腫瘍やその他脳疾患に関する共同研究を行うなど、集学的治療を行っています。難治症例といわれる頭蓋底の脳腫瘍手術などに関しても同様で、良好な治療成績を収めています。良性脳腫瘍の経過観察中で、腫瘍が増大傾向にありガンマナイフを希望される患者様に対しては、連携施設

での対応も可能です。ご相談ください。

## 千葉県共用パスを活用して

千葉県では「千葉県共用脳卒中地域医療連携パス」を作成しています。例えば当院（急性期病院）から回復期病院へ連携パスを渡し、回復期病院からかかりつけ医へとまたパスを回すという循環的連携を行っています。急性期病院としての責務を果たしつつ地域医療機関と連携し、高齢者を含む全ての脳卒中患者様に継ぎ目の無い医療を提供できるよう、その使命を果たしていきます。

### 患者様紹介について

「千葉県共用脳卒中地域医療連携パス」をお使いいただいていた場合は、新たな情報は必要ありません。例えば、脳梗塞の既往がある患者様の検査などで当院をご紹介いただく際には、パスのチェックシートにチェックを入れてお送りいただければ十分です。

また、市川市医師会と「脳卒中連携を考える会」を年数回開催していますので、連携パスの使い方や連携についてご不明なことがありましたら勉強会にもご参加いただければ幸いです。

## information

### 市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成28年4月18日(月)
- ❖ 時間：19:30～
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

- 当院における脳卒中診療の現状(菅 貞郎)
- 症例検討ほか(片山 正輝)



脳神経外科 教授  
菅 貞郎

みなさまのご参加、お待ちしております。

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)